

市民参加調査結果 意見まとめ

番号	事業名	意見
1	新城市公共施設個別施設計画策定（第2期）	第1期の計画策定からこれまでの実施状況の検証を行うべきである。そのために令和6年度に市民意見聴取を行っていただきたい。今後、廃止や地域移管等が進むのであれば市民の要望等を慎重に聴取する必要があると思う。
2	元新城東高校用地活用基本構想	令和6年度にパブリックコメントを実施するとなっているが、市民検討委員会を設置し意見を聴取した方が良い。
3	新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂	ここ10年間で人口減少が顕著に進んでいる。パブリックコメントだけでなく、地域協議会、区長会、市民活動団体などと意見交換を行った方が良い。
4	多文化共生事業	進捗管理に関する検討委員会を設置すべき。
5	自治基本条例運用事業（女性議会）	案内や結果報告など、もっと多くの女性に届くよう周知方法を検討すべき。
6	若者が活躍できるまち実現事業（つながる地域と若者の輪）	意見交換が年に鳳来地区で1回と少ないため、もっと回数と地域を増やし若者の思いを聞けるようにすべき。
7	地域協議会全般	「老若男女みんなが当事者」「世代のリレーができるまちを協働してつくる」の観点から、委員の男女比率、年代比率に偏りがなく人選できているか疑問である。
		地域自治区に関する事業は、そもそも地域協議会で市民意見が反映されていることが前提であるため、調査票に載せる意味があるか疑問である。
8	新城北設ごみ処理施設整備基本構想	検討委員に市民を入れるべき。
9	新城市福祉従事者がやりがいを持って働き続けることができるまちづくり条例の効果的な運用	地域との協働が重要になると思われるため、福祉従事者支援策定推進会議の委員に各地域協議会が推薦する市民に入ってほしい。
		今後スタートすると思われるが、現場職員の声、経営者（代表）の声等をしっかりと拾える仕組みにしていきたい。現場職員の声だけでは偏った意見になるため、総合的判断のできる内容・構成が重要になる。
10	こども園再編・整備計画策定事業	会議に参加したが、市の方向性がすでに決まっている内容であり、参加委員が全て納得できたとは感じられなかった。十分に納得できる説明が必要である。

番号	事業名	意見
1 1	制服検討委員会	市民アンケート開始から決定までの期間が短い。もう少し早い段階から情報が出て良いのではないかな。
1 2	調査票に上がってこない事業への対応	全事業を把握している担当課と連携し、市民意見の反映が必要な事業を洗い出すなどしてはどうか。
		市民参加ができていないことが問題であるのならば、調査票が提出されていない事業を見る必要がある。
1 3	事業段階	「構想・計画段階」だとしても、ほぼ実施が決定している状況であり、その後に意見をしたらところで事業の方向性は変わらない。最初の「実施予定事業等を実施するかどうかを決定する段階」で地域協議会に相談すると、地域住民も一から考えたという気持ちになるのではないかな。
1 4	市民意見を聴くタイミング	子ども、福祉、交通、農業などは市民生活に密着しており、市民の関心が高い。事業を実施するかどうかを考えるときに積極的に地域に入って相談すると良い。
1 5	市民参加の対象	30代から50代までのこれから地域を支えていく世代が各種事業を行っていることを知らないという時点で、市民参加ができていないのか疑問である。事業ごとに、広報、ホームページ、SNS等、届けたい人に届くよう工夫が必要。
1 6	パブリックコメントを実施した事業全般	パブリックコメントを募集しても回答がなかった事業が6事業。その他3事業も回答が1～3件。もっと工夫して多くの意見や考えを求めてほしい。